

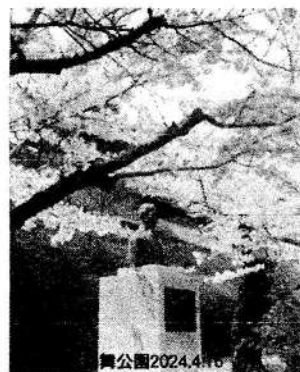


由利本荘市 ふるさと会

編集・発行
由利本荘市ふるさと会
編集委員会

会長 安井 賢光

第3号



真公園2024.4.16

地球沸騰化と言われる中で

由利本荘市ふるさと会会長 安井賢光



皆さん今日は。久し振りの会報の発行となりました。最近、冬が過ぎたと思つたらもう夏がやってくる、というように異常な気候状況ですね。近頃は、地球温暖化と言わず、地球沸騰化と言うようです。温暖化というように生つちよいものじゃあないよ、と言うことでしょうか。世界各地で異常気象や山火事が発生してお

ります。昨年、日本でも夏が過ぎたら秋はなく、すぐ冬が来たと言われました。極端な気候の移り変わりは、我々の体の調子も狂わせるに違いありません。今年の冬には、コロナ渦の間、引かないように気をつけていた風邪に罹ってしまった、一週間ばかり、咳に苦しめられました。いろいろ気をつけていなければなら

由利本荘市ふるさと会 会報発行に寄せて



由利本荘市長 湊 貴信

このたび「由利本荘市ふるさと会会報第三号」が発行されましたことに、心からお祝い申し上げますとともに、会員の皆様には、ふるさと由利本荘に對しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、由利本荘市では、令和二年の国勢調査において人口が七万四千余人と、十五年前と比較して約一万五千人減少しております。「人口減少対策」が本市の最重要課題であります。令和三年四月に私が市長に就任して以来、未来のさらなる飛躍に向けて、デジタル化の推進など各種施策を積極的に推進してきたほか、今年度は「大規模プロジェクト」などを活かした関係人口の拡大と地域産業の振興」を柱の一つとして、プロジェクトの成果が本市経済の様々な分野へ幅広く波及するよう、取

り組んでおります。具体的な事例を挙げますと、一番堰まちづくりプロジェクトでは、昨年九月にTDKの社員寮「ZINOB」が完成し、地域住民も利用できる社員食堂や共用スペースにより新たな交流の場が生まれたほか、本年四月には特別養護老人ホーム「萬生苑」が開所しております。

今後同エリアでは、病院及び統合小中学校の整備も予定されており、市では通勤、通学、物流を支える基盤として、道路などのインフラ施設の整備を進めているところであり、また、子吉川流域の洪水被害の軽減や流水機能維持、水道用水の供給及び発電を目的とした「鳥海ダム」は、新たな観光スポットとしても期待

らない状況になってきたのだと思います。会員の皆様も気候の激変にはくれぐれもご注意いただきたいと思います。さて、話は変わりますが、日本の人口は、十数年前から減少に変わり、毎年数十万人の減少となつていくようであり、都道府県で見ても、増加しているのは東京都のみです。秋田県でも由利本荘市でも例外ではなく、減り方も大きいのではないかと危惧するところでもあります。

由利本荘市でも若い年齢層の増加に力を入れておられるようであります。是非頑張ってください。

近年の諸物価高騰により経費も増高しており、ふるさと会の運営方法もいろいろと見直さなければならぬことも出て参ります。会員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

活動のご報告

ふるさと岩城会

第34回ふるさと岩城会総会



第34回ふるさと会で開催した岩市長

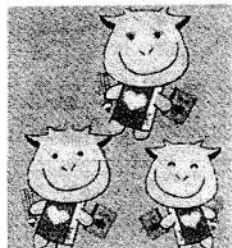
代表
柴田健蔵



昭和62年に元町長の前川盛太郎氏が発起人になり岩城会が発足した。新宿厚生年金会館にて来賓議員、町行政職員と在京出身者350名が出席して盛大に開催されました。初代会長には亀田藩主岩城家19代の岩城隆宣氏が就任されて平成21年から20代隆昌氏には引き継がれ開催してきました。第34回総会はコロナ禍の折、4年ぶりの令和5年12月3日に開催しこの総会を最後に由利本荘市ふるさと会に編入し岩城会を閉会する事にしました。江戸時代は亀田藩2万石の城下町として栄え、石脇地区は藩領でした。松本幸江さんの品格のある流れるような石脇弁は懐かしい亀田弁が思い出されます。かつては松本清張の「砂の器」の舞台として、近年はNHK大河ドラマ「真田丸」で真田幸村の娘御田の方の嫁いだ土地として脚光を浴びた地域です。私達はこの歴史と文化の町岩城をこよなく愛して誇りに思っているが、岩城会を継続してました。最後に第34回ふるさと会には来賓に湊市長にもご出席して頂き総勢53名で有終の美を飾る事ができました。今後も由利本荘市ふるさと会に参加して他地域の方々と交流を持ち、ふるさとへの新しい発見を話になります。今後ともお互い致しします。

東京東由利会

会長
工藤次雄



東由利中学校イメージキャラクター「まなぶくん」

東京東由利会は、昭和37年に、目黒雅叙園に於て96名の参加のもとに、「東由利村出身者の集い」として行われたのが始まりと記録にあります。その後参加者が100名以上の年が20年ぐらいいましたが、以後減少が続いております。日帰りバス旅行も32回行われましたが、参加者が少なくなくなり、ここ数年は休止しております。昨年はコロナも落ち着きましたので、5月28日に第61回東京東由利会の総会と懇親会を行いました。一年に一度の総会懇親会はかけがえのない大切な交流の場であり、多くの皆様に参加していただき、そして喜んでいただけたように取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い致します。

首都圏あきた大内会

会長
佐々木正人



2019年(令和元年)に開催した第55回東京地区大内会総会で、前任の阿部会長からバトン。阿部会長は10年以上に長きにわたり会長を歴任していただきました。私が会長に選出されたこと、2020年「コロナ禍」で翌年2022年と総会は開催できませんでしたが、昨年久しぶりに「第56回総会」を開催した。会の名称を「首都圏あきた大内会」として本年の案内も差し上げている状況です。しかしながら、600名を超える会員登録も返信のない方も多数あり、昨年の総会案内前には「会員の継続確認」を行いました。

「会員継続」100名、「退会や死去」100名、「返信なし」が約100名という状況でした。昔のようにいづれに人が集まればいいという「ふるさと会」でなく、「参加した皆さんが楽しかった」と言える「ふるさと会」で継続していこうと今日を迎えています。今年の6月29日の案内にも残念ながら「欠席」返信が多く何人の方が総会に参加してくれぬのか不安です。同級生や親せきなどや由利本荘市や大内会に関係する仲間の紹介も機会あるごとに各方面にお願いしている現状です。

▽第57回首都圏あきた大内会総会(交流会)
6月29日(土) 13時
千代田区「アルカディア市ヶ谷」

由利本荘市ふるさと会

事務局長
保科勇記夫



昨年の懇親交流パーティーの様相



ボウリング大会

「第5回由利本荘市ふるさと会、総会・懇親交流パーティー」が昨年7月22日第一ホテル東京で開催されました。4年ぶりの何名参加頂けるか不安でしたが、82名の方がいらして下さいました。「会った瞬間から、お互いに「歳とったなあ」と、まだまだわくわく」と盛り上がり、ふるさと会の話が始めると心は10代の少年少女にタイムスリップしてしまいました。若かりし日を、懐かしむのも良いものです。由利本荘市のお酒を飲みながら、大いに昔を語り合い、翌日からもつと元氣に頑張つて、来年も会いましょうと約束をする、そんなふるさと会が大好きで、ずっと続けて参りますので宜しくお願い致します。また当日の雰囲気や参加者の笑顔などはHPをご覧下さいませ。そして運営活動費(年会費)やご寄付を頂いた皆様には役員一同心より感謝申し上げます。

また、岩手県葛巻町ふるさと会の方々と親交があり、「ふるさと対抗ボウリング大会」を開催しました。1勝1敗、3回目は今年5月11日に開催しました。次は秋に予定しています。女性の方、年齢によりHCがありますので、楽しいですよ。そして今年秋には屋形船ツアーを再開いたします。参加お待ちしております。

各ふるさと会から

由利中学校同窓会東京支部

支部長
村上学



我が東京支部は、市の各ふるさと会同様、新規加入が無く、高齢化が進展し、支部会員・役員が減少しています。

支部役員が少ない中、名簿管理・役員会運営、懇親会準備・開催、その他故郷との絆を育んでいます。

令和5年東京支部の活動状況は、次の通りです。

- ①令和5年支部役員会開催
- ②令和5年3月・卒業生に記念品贈呈【筆記用具】
- ③3月20日・由利中出身・石垣明衣選手（本荘高校柔道部）の全日本高等学校柔道選手権大会出場応援
- ④5月11日・由利中修学旅行生と赤坂のホテルにて、交流会

- ⑤10月7日・由利中吹奏楽部の東日本学校吹奏楽大会出場への応援
- ⑥11月15日羽越本線高速化&日沿道促進大会参加
- ⑦11月18日、第55回由利中同窓会東京支部懇親会を開催
- ⑧市の各ふるさと会への交流出席

第55回の当該懇親会は、故郷から同窓会会長、由利総合支所長、市議会議員、由利中同窓会事務局含め22名、市の各ふるさと会6名の総勢88名が参加。ご来賓の挨拶後、民謡歌手の民謡ショーでは、『由利小唄』のアンコールもあり、民謡と歌謡曲で会場が酔いしれ、大盛況の中、閉会しました。

次回第56回は、令和6年11月30日開催予定です。

ふるさと鳥海の会

会長
吉田禎介



昨年開催の懇親会

第36回ふるさと鳥海の会総会・懇親会を令和5年11月12日に4年振りにアルカディア市ヶ谷にて開催しました。出席者136名（会員93名、来賓16名、賛助会員10名、猿倉講中13名等）、新たに参加された方が21名と、近年では多かったと思います。まず、猿倉番楽を観劇。民謡を楽しんでいただき、懇親会では由利牛、キノコ汁を堪能し、踊り等で大いに会場が盛り上がりついました。物産販売では「ほつといん鳥海」から松皮餅、みょうさく水煮、鳥海漬、キノコミックス等が好評でした。町からは「百宅そば、鳥海そばバスタ」をお土産として、又、日本酒、鳥海そば焼酎等を提供していただきました。ホームページにも掲載しておりますので是非ご覧下さい。

その他の事業としては、鳥海新緑まつり、鳥海獅子祭への協賛、会報「メトリア鳥海」の発行です。

「まんずかだれ」をモットーに今後も明るく楽しく飲んで、しゃべって、皆さんに「来て良かったよ。来年も来るからね」と言われるように頑張りますので今後も宜しくお願い致します。

在京矢島会

会長
久保田勇三



令和6年（第57回）在京矢島会新年懇親会
今年1月開催の「在京矢島会新年懇親会」

在京矢島会の年間活動は、新年懇親会（1月）、総会（3月）、暑気払い（関東近県の観光地見学と懇親会）、矢島中学校修学旅行時の職場訪問支援を行っておりますが、令和2年の新型コロナウイルス感染症により全ての行事が中止となりました。

令和5年度は新型コロナウイルスが5類感染症に移行されましたが、役員会で「新年懇親会」のみ実施することに決定し、令和6年1月21日アルカディア市ヶ谷で開催致しました。4年振りの開催の為、要領が不慣れで役員会を5回も行い意思疎通を図りました。参加者は、総勢108名で、民謡、カラオケ、ビンゴゲームの他、久しぶりの花が咲き時間の過ぎるのも忘れ盛り上がり、最後は「ふるさと」と「矢島の歌」を全員で合唱しお開きとなりました。

今年度は特別イベントとして、矢島小学校が中高連携校の敷地内に移転しており、廃校となった跡地を利用して「令和の城下町矢島を創造する会」の植樹祭への参加を含めたふるさと訪問を計画しております。

関東地区西目会

会長
清橋富夫



昭和40年東京オリンピックの翌年に始まった西目町の出身者が毎年集う「関東地区西目会総会」は、昨年11月26日浅草ビューホテルで開催されました。新型コロナウイルスの影響で3回の休会を含み、第59回目の開催でした。

昭和の時代の当会は、ふるさとからもち米と笹の香りがする笹巻を婦人会の皆さんが作って、会場まで持ち込んでくれました。食事はささやかな弁当であったと聞いています。そのころは関東地区に出てきて間もない若者が多く参加し、ふるさとの方もいつしよに楽しく語っている様子が写真に記録されています。

各会とも同様であると推察しますが、ふるさととの移動時間が縮まるとともに会員の高齢化、若手会員の減少が進んでおります。昨年の総会を開催するに当たり、状況を説明し当会の発展的解散を決定いたしました。

当会といえはなんと言つても、「ふるさと物産展」と、たくさんふるさとの物産が抽選で当たる「ふるさと抽選会」です。昨年も大変好評でした。物産展、抽選などの特徴ある当会でしたが、解散と合流に何とか理解をいただき、最後の総会を終えることができました。

これからは由利本荘市ふるさと会にて、元気な気持ちを交流させていただきますのでどうぞよろしくお願いたします。

由利本荘市ふるさと会 に参加して

渡邊 聡



今回由利本荘市ふるさと会
ふるさと岩城会は秋田県人会
のホームページで見つけまし
た。東京の大学に進学以降、
岩城中学校の同期や先輩後輩
に会う機会が非常に少なく、
また中学校だけでなく旧岩城
町出身の方や由利本荘市出身
の方に会うこともほとんどな
かったため、参加を決めまし
た。

由利本荘市ふるさと会に参
加してみても、岩城中学校の同
期や先輩には会えませんが、し
たが(笑)、地元出身の多くの
方と交流できて岩城や由利本
荘市を思い出しました。普段
家族と電話する時しか秋田弁
は出てこないのですが久々に
秋田弁で話しました。由利本
荘市の議会の議員様や由利本
荘市の市役所で働いている方
とも交流できて今の由利本荘
市の話も聞くことができて楽
しかったです。

今後機会があれば由利本
荘市の企画に参加できればと
思っています。

お悔やみ

2023年2月20日、当会の
前身「本荘ふるさと会」
の会長を長年つとめ、当
会「由利本荘市ふるさと
会」発足に尽力された池
田哲三氏のご逝去されま
した。また2022年には
ふるさと岩城会顧問で当
会の相談役・羽賀吉郎氏
が、2022年11月24日
には当会幹事・佐藤六郎氏
がご逝去されました。心
よりご冥福をお祈り申し
上げると共に、多大なる
貢献に深く御礼申し上げます。



故・池田哲三氏

令和5年度由利本荘市ふるさと会 収支決算報告書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

収入決算額				982,306円
支出決算額				180,255円
差引残額				802,051円
【収入の部】				
(単位：円)				
項 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
繰越金	580,401	580,401	0	
年会費・寄付	240,000	363,000	123,000	会員127名254,000円、寄付20名109,000円
総 会	0	38,900	38,900	総会・懇親交流パーティー
雑収入	2	5	3	ゆうちょ口座利子
合 計	820,403	982,306	161,903	
【支出の部】				
(単位：円)				
項 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
会議費	0	0	0	役員会（お茶代・交通費なし）
事業費	130,000	67,000	△63,000	各ふるさと会会費（7団体）
通信費	97,000	95,670	△1,330	切手・返信ハガキ手数料59,700円、 HP運営費35,970円
事務費	100,000	17,585	△82,415	事務用品費他
予備費	493,403	0	△493,403	
次期繰越金	0	802,051	802,051	
合 計	820,403	982,306	161,903	

(2024年5月25日開催の役員会で承認されております)

●令和5年度由利本荘市ふるさと会収支決算の報告
例年、総会での発表・承認を経て会報に掲載する形で皆様に報告させていただいておりました収支決算書につきま
しては、コロナ緊急事態宣言渦中であつて、ふるさと会の
活動も休止せざるを得なかったため、皆様へのご報告もで
きない状況でした。今回は、活動を再開した昨年度の収支
報告書のみ掲載いたします。

2024年7月7日(日)

第6回由利本荘市ふるさと会 総会・懇親交流パーティー開催

日時: 2024年7月7日(日)
受付・由利本荘物産展示即売会 10:30~
総会 11:30~
懇親交流パーティー 12:30~14:30
会場: アルカディア市ヶ谷 3階「富士の間」
東京都千代田区九段北4-2-25 Tel: 03-3261-9921
会費: 12,000円

ふるってご参加ください!

屋形船ツアー

お待たせしました!
久しぶりの開催です!

会場: 浜松町「竹内」
会費: 12,000円
日時: 11月16日(土) 17:30出航
連絡先: [REDACTED]

11月16日
(土)

前回2017年の
屋形船ツアー



*詳細は後日ホームページ等でお知らせいたします。

由利本荘市ふるさと会のホームページが
リニューアルしました

<https://www.yurihonjo-furusatokai.com>
HPアドレスも変わりました。ブックマークの変更をお願いいたします。



QRコード

由利本荘市ふるさと会 会報第3号 編集後記 ●久しぶりの会報制作と
なりました。昨年は「六郷氏・岩城氏・打越氏由利本荘市入部400年」記
念事業として様々なイベントが開催されました。帰省時に歴史研究家河合
敦氏の講演を聞く機会があり、昔、佐竹藩と庄内藩に挟まれた由利本荘市
地域が歩んだ歴史を垣間見ることができました。数年前、浅草と六郷氏江
戸藩邸の浅からぬ縁を偶然知って以来、時々六郷氏藩邸跡を訪ねるよう
になりました。岩城氏、生駒氏の藩邸跡も訪ねてみたいと思っています。7
月の総会・懇親パーティーには、皆様ぜひご参加ください。(遠藤桂子)

●2024写真コンテスト作
品募集 6月30日必着
由利本荘市の美しい自然の
風景を、写真でアピールしよ
う! という企画。入選作品
は8月開催の作品展で展示さ
れます。要「応募票」添付。
お問合せ先 事務局 佐藤光
治

※フェイスブック
の公開グループ「大好き由利
高原鉄道前進するおばこ号の
会」で要綱、応募票の確認が
できます。

ふるさと通信